植込み型心電計を留置した原因不明脳梗塞患者の多施設共同後ろ向き観察研究

【研究の目的・意義】

本研究の目的は、植込み型心電計を留置した原因不明の脳梗塞患者の各種因子と心房細動の出現との関連を解明し、心房細動の事前予測因子を明らかにすることです。心房細動の予測因子を示すことができれば、植込み型心電計留置の必要性について明確に示すことができます。

【研究期間】

2019 年3月31日まで

【研究の方法】

入院中に記録された診療録記録データ、検査データ、画像データを用い、観察・検査項目に関して、頻度分布・基礎統計量（平均値、中央値）を求め、植込み型心電計による心房細動検出に関連する因子について多変量解析を行います。

【研究機関】

研究代表者

大阪大学医学部附属病院　神経内科・脳卒中科

助教：藤堂謙一

〒565-0871 吹田市山田丘 2-2

TEL:06-6879-3576 FAX:06-6878-657

【対象となる方】

適応基準：以下をすべて満たす患者

- 植込み型心電計を留置した原因不明脳梗塞患者
- 2016 年 9 月 1 日から施設での研究承認日までに植込み型心電計を留置した患者
- 植込み型心電計留置時の年齢が 20 歳以上

除外基準：なし

【個人情報の取り扱い】

個人を同定できる情報を削除し、匿名化を行います。学会、論文発表の際にも、個人を同定できる情報が出ることはありません。この研究について、さらに詳しい内容を知りたい場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

【当院の問い合わせ先】

済生会福岡総合病院　脳神経内科　部長　橋本　哲也

電話番号：092-771-8151

本研究は国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、当院での臨床研究倫理委員会（臨床研究の実施または継続に、倫理的観点及び科学的観点から審議する委員会）においてその科学性・倫理性について厳重に審査され、病院長の承認を受けて実施されます。